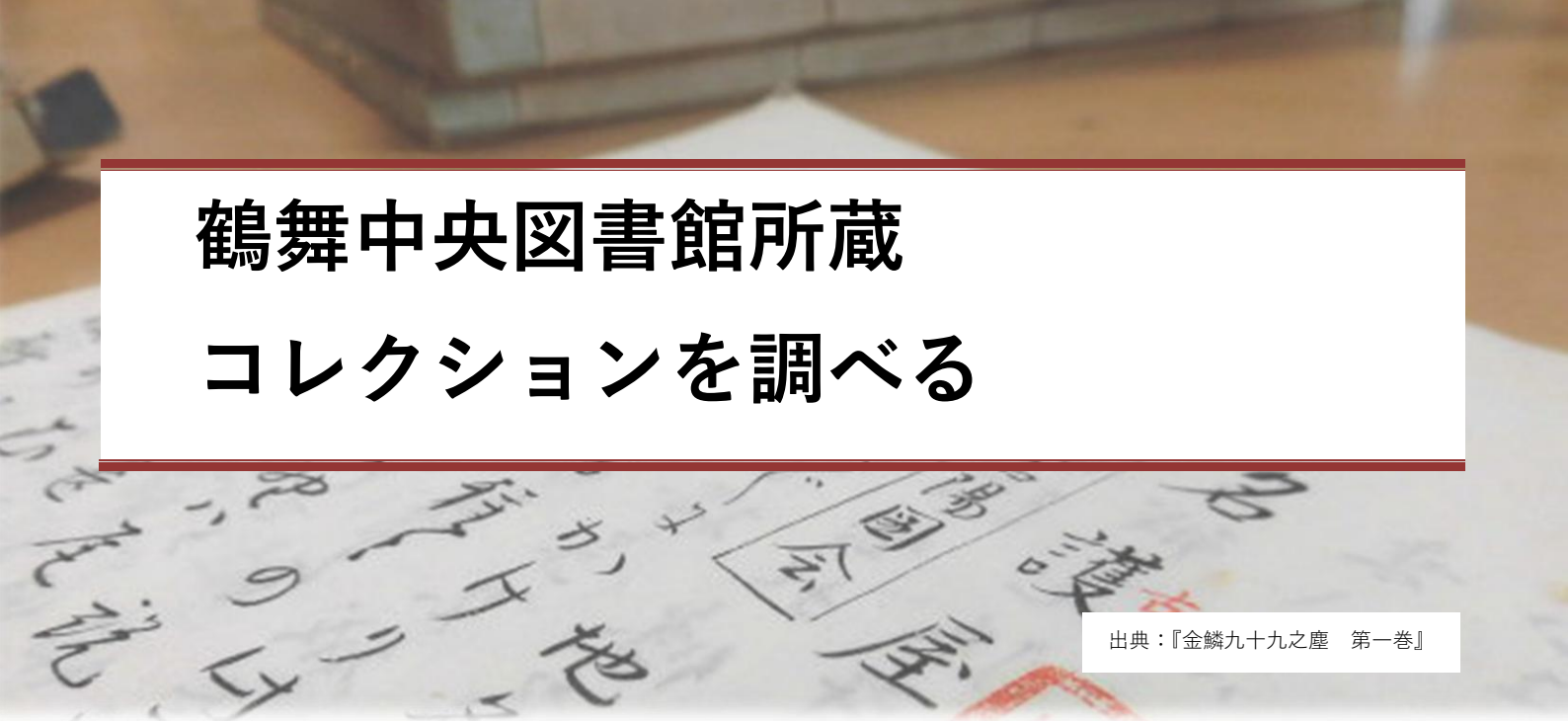
鶴舞中央図書館所蔵
コレクションを調べる



出典：『金鱗九十九之塵　第一巻』

鶴舞中央図書館では、大正 12（1923）年の開館以来、名古屋市史編纂の基礎になった名古屋市史編纂資料や、この地方に関わる人物の旧蔵書などを特別集書として収集してきました。ここでは、これらのコレクションを調べる方法をご紹介します。　📖：図書　🌐：インターネット

1．インターネットで調べる

🌐なごやコレクション　特別集書資料検索

鶴舞中央図書館が所蔵するコレクションを検索できるデータベースです。書名・書名の読み（カタカナ）・編著者・版元・年代・請求記号で検索することができます。コレクション名を選んでしぼりこむこともできます。

https://e-library2.gprime.jp/lib_city_nagoya/da/top

🌐国文学研究資料館　国書データベース

日本国内の古典籍について、著作・著者・所在情報を提供するデータベースで、『国書総目録』や『古典籍総合目録』所収のデータに加え、これらの目録刊行後に追加されたデータを検索することができます。資料によっては原本の画像も閲覧できます。鶴舞中央図書館の所蔵資料の場合、戦災で焼失した資料も含まれるので注意が必要です。　https://kokusho.nijl.ac.jp

2．目録で調べる

📖『名古屋市鶴舞中央図書館所蔵　名古屋市史資料目録』（名古屋市鶴舞中央図書館／編　名古屋市　1969 年）

名古屋市史編纂資料の目録です。分野別になっており、巻末には五十音索引があります。戦災で焼失した資料も含まれます。名古屋市史編纂資料以外のコレクションについては、事務用の紙目録がありますので、鶴舞中央図書館 2 階の 4 番カウンターでおたずねください。

📖『国書総目録』（森末義彰／［ほか］編　岩波書店　1990 年　補訂版）

古代から幕末までに日本人が著述・編集・翻訳した古典籍の総合目録です。写本・版本等のオリジナル資料の所在情報のほか、明治以降の全集・叢書などに含まれる活字翻刻版や複製版の情報が記載されています。編纂当時の所在のため、現在は所蔵していないことも。鶴舞中央図書館の場合、戦災で焼失した資料も含まれます。

3．各コレクションの概要

●名古屋市史編纂資料

『名古屋市史』（大正 4 年～昭和 9 年刊、全 12 冊）編纂のために収集された資料で、総記・哲学・宗教・教育・文学・語学・歴史・地誌・法制・経済・財政・統計・社会・理学・医学・工学・兵事・美術・諸芸・産業・地図に分類、整理されています。大半が筆写されたものですが、『金鱗九十九之塵』（こんりんつくものちり）など、今では原本が失われたものもあり、大変貴重な研究資料となっています。
〔資料の種類・点数〕写本・版本・絵図 2,150 点（4,604 冊）

●河村文庫
尾張藩士の河村秀頴（ひでかい）・秀根（ひでね）・益根（ますね）によって伝えられた蔵書で、国文学や有職故実に関する資料を多く含みます。書名の５０音順に資料を整理し保管していましたが、昭和 20 年 3 月 19 日の空襲により、ア～サ行を残してタ行以降をほぼ焼失しました。残された約 4,000 冊は現在もなお、古典研究の貴重な研究資料となっています。
秀根・益根父子の最大の業績が『書紀集解』（しょきしっかい）で、同書は江戸時代における『日本書紀』の代表的な注釈書といわれ、最初の本格的出典研究の書とされています。当館では、刊本(出版された本)のみならず、無罫紙に書かれた第一次草稿本、罫紙に書かれ清書される前の第二次草稿本、整版校正用のゲラ刷り本を所蔵しています。　〔資料の種類・点数〕写本・版本 3,981 冊

●石河家文書
尾張藩国家老石河家の文書で、文政から慶応にかけての在所であった中島郡駒塚村（現在の岐阜県羽島市）での日録です。　〔資料の種類・点数〕 文書 63 点

●植松本
国学者植松茂岳の旧蔵・手沢本で、「古事記傳」「古訓古事記」等があります。
〔資料の種類・点数〕 版本 7 点 79 冊

●大河内存真（おおこうちぞんしん）関係資料
幕末の尾張藩御医師で伊藤圭介実兄である大河内存真と、その孫和（かず）関係の資料です。書簡・漢詩・書画等があります。　〔資料の種類・点数〕 書簡・漢詩類 271 点　軸・書画類 14 点

●観魚文庫
河東碧梧桐筆頭の門下生で、六朝書の研究会「竜眠会」を結成したしたことで知られる、俳人で書画家の伊藤観魚氏の遺作と遺品です。書画や俳句が中心で、故人の希望により寄贈されました。
〔資料の種類・点数〕 軸・書画類等 35 点

●久野文庫
明治期の漢学者久野保心の旧蔵書です。保心の師であった中山梅軒（尾張藩士・儒学者・兵法家）・弘斎父子の手稿本、細野要斎（尾張藩校明倫堂督学・儒学者）旧蔵本等を含みます。漢籍・国史・兵法・郷土史など幅広い内容です。　〔資料の種類・点数〕 写本・版本 631 点（1,829 冊）

●小塚家文書
江戸期名古屋の大庄屋小塚家に伝わった文書です。新田開発に関する証文・書簡類が中心です。
〔資料の種類・点数〕 文書 330 点

●佐藤文庫

幕末～明治期の尾張藩儒学・漢学者で、藩校明倫堂教授を勤めた佐藤牧山（楚材）の旧蔵書（漢籍・漢学書）です。　〔資料の種類・点数〕 版本 85 点（875 冊）

●多賀コレクション
元朝日新聞名古屋支局長で日本短冊研究会主宰の多賀博氏の寄贈になる、東海三県（愛知・岐阜・三重）の先人の短冊コレクションです。　〔資料の種類・点数〕 文書 1,188 点

●武野新助文書
尾張藩士武野家の、初代新助信治から三代影信知兵衛にわたる知行地に関する文書です。武野家は茶道家武野家の分家筋にあたります。　〔資料の種類・点数〕 5 点

●千葉文庫〔1956〕
一関藩の和算学者である千葉胤英（ちばたねふさ）を中心として、父胤秀・子常一の蔵書を含む、父子三代の旧蔵書です。ほとんど全てが和算関係の稿本です。父子三代にわたって関流和算家として知られています。
〔資料の種類・点数〕 152 冊

●水野文庫
郷土史研究家水野録次郎氏旧蔵の絵草子コレクションです。　〔資料の種類・点数〕 版本 398 点（1,534 冊）

●水口屋文書
江戸期名古屋の豪商・水口屋小川傳兵衛家に伝わった文書類です。商売・新田開発の証文類を中心に、書簡・呉服雛形・店則等があります。　〔資料の種類・点数〕 文書 2,660 点

●深山文庫
大正・昭和期の中国研究家・漢詩人で、「国民新聞」記者、朝鮮総督府嘱託等を経て北京に研究室を構えた今関天彭（寿麿）の旧蔵書です。明～清代にかけての純漢籍中心で、文庫名は寄贈者の号にちなみます。
〔資料の種類・点数〕 版本 305 点（2,771 冊）

●湯浅コレクション〔1952〕
郷土史研究家湯浅四郎氏の寄贈による、郷土関係の書画・陶磁器等のコレクションです。
〔資料の種類・点数〕 745 点

●鹿山文庫・三輪文庫〔1932〕
鈴木摠兵衛（号：鹿山）氏の遺志により、水野復斎旧蔵書と維持資金が寄付されましたが、復斎旧蔵書は戦災で焼失しました。維持資金で購入された幕末（～大正）の尾張藩国学者で歌人である三輪経年（杉廼屋）の旧蔵書が受入時の事情により二つに分かれてしまい、二つの異なった文庫名を冠して蔵されることになりました。国文学・国史関係が中心です。　〔資料の種類・点数〕 写本・版本 260 点

●郷土和装本（旧分類 6 版別置本）
昭和 39 年（1964）4 月以前に当館に受け入れられた古典籍のうち、郷土資料及び郷土人著作を抜き出して別

置したコレクションです。細野要斎「葎の滴」を始めとして、自筆稿本を多く含んでいます。
〔資料の種類・点数〕 写本・版本・絵画 464 点

●大口六兵衛関連資料〔2018〕
名古屋におけるジャーナリストの草分けであり、芸能文化を牽引した大口六兵衛に関連する資料です。六兵衛直筆の原稿をはじめ、日記、蔵書、写真、扇子、軸、短冊および子孫・大口寿雄氏作成の六兵衛を研究した資料など多岐にわたります。 〔資料の種類・点数〕 408 点

それぞれのコレクションを調べるためのツールについては、下記の一覧表を参考にしてください。

コレクション名	なごやコレクション特別集書資料検索	国書総目録・国文学研究資料館国書データベース	紙目録
名古屋市史編纂資料	○	●	○
河村文庫	○	●	○
石河家文書	○	×	○
植松本	○	×	○
大河内存真関係資料	×	×	○
観魚文庫	×	×	○
久野文庫	○	△	○
小塚家文書	○	×	○
佐藤文庫	○	×	○
多賀コレクション	×	×	○
武野新助文書	○	×	○
千葉文庫	×	×	○
水野文庫	×	○	○
水口屋文書	△	×	○
深山文庫	×	×	○
湯浅コレクション	×	×	○
鹿山文庫・三輪文庫	○	×	○
郷土和装本（旧分類 6 版別置本）	○	△	○
大口六兵衛関連資料	×	×	○

○…すべて検索することができます。
●…中には検索できない資料があります。
河村文庫は、戦災で書名のタ行以降をほぼ焼失しているため、目録に記載されていても現存しない資料があります。
△…ごく一部分のみ検索できます。
×…検索できません。

作成：名古屋市図書館（2026 年 10 月改訂）